

伝統に生きる

—あらかわの工芸技術—



にんぎょうかしら

人形頭

たか く ひで よし
高 久 秀 芳

(平成20年度作品)
ビデオ・DVD
カラー・23分

プロフィール

住所、荒川区西日暮里6丁目16番2号
昭和7年（1932）栃木県栃木市生まれ

高久さんは、昭和24年に上京し、義兄の仁戸部 武氏に師事する。昭和35年に東日暮里で独立。昭和37年に現在の地に移り、今に至る。

分業制がとられる人形づくりのなかで、人形頭づくりを手がける。

人形頭とは、桐塑（桐のおがくず）の人形生地（こがみ）に目を入れ、胡粉（こま）を塗って輪郭を作り、表情を描いて仕上げる技法である。

高久さんは、雛人形と木目込人形の頭を中心に製作する。その他、武者人形・女形人形・子供人形（舞踊・武者といった節供人形）・市松人形など、多様な種類の人形頭を作る熟練の技術をもつ。また、人形の目も頭の大きさに応じて製作する。

企画・著作 荒川区教育委員会 制作 株式会社毎日映画社

【用具・工具・材料】

「用具・工具」

小刀、やげん、筆(書下げ用、面相用、おきあげ用) 刷毛、竹べら、棒、ハトメ、やすり、紙やすり、ピンセット、さらし布、ふるい、ボール、すりこぎ、ねり鉢、巻藁、ガスコンロなど

「材料」

胡粉、膠(地塗り・中塗り用)、ゼラチン(上塗り用)、棒絵具(陽紅)、水干(陽紅)、湯煙墨、アラビア糊、ガラス、首串、硯、墨、ボンドなど



【工程 -人形頭-】

(1) 下地づくり

- ・桐製の人形生地へのちをやすりで削る。
- ・首串を刺す。
- ・生地目の口部分を切り出す。
- ・ガラスに黒・茶・白と色を塗り、目をつくる。
- ・コクソ(膠と胡粉を堅めに溶いた物)をつくる。
- ・人形生地に目を埋め込む。

(2) 地塗り

- ・膠を煮て胡粉と混ぜ合わせる。
- ・人形生地に胡粉を刷毛で刷り込むように塗り、全体におたまでまんべんなくかけた後、半日から一日乾かす。

(3) おきあげ

- ・コクソを薄めて、おきあげ用胡粉をつくり、筆で鼻、口、まぶた、あごに塗り、輪郭を整える。
- ・乾かした後、へこみやでっぱりを小刀で削り、紙やすりで表面をなめらかにする。

(4) 中塗り

- ・再び、胡粉を塗って、半日から一日乾かす。
- ・水で湿らせたさらし布でこするように拭き、表面を滑らかにする。
- ・鼻、口、目、まぶたを削り、顔の輪郭をはっきりさせる。
- ・おきあげ用胡粉で耳をつくる。

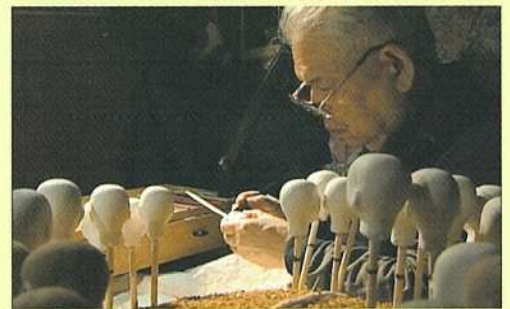
(5) 上塗り

- ・ゼラチンを煮て、きめの細かい上質の胡粉と混ぜ、上塗り用胡粉をつくる。
- ・ガスコンロで時々あぶりながら、地塗り・中塗りよりも腰の柔らかい刷毛で胡粉を塗る。
- ・これを5~6回繰り返す。

(6) 面相書き・仕上げ

- ・水干(陽紅)と胡粉を調合して頬紅を作り、頬とまぶたに刷毛で刷り込む。
- ・上塗りで目の表面についた胡粉を小刀などを使い取り除く(目さらい)。
- ・棒絵具(陽紅)を溶き、唇に塗る。
- ・面相筆で眉毛、まつ毛、書き下げ筆で髪の生え際を描く。
- ・ボール紙で舌をつくり、口に取り付ける。
- ・おきあげ用胡粉で歯をつくり、黒く塗る。

(7) 完成



「ビデオテープ・DVD」

荒川区内の図書館で貸し出しています。貸し出し期間は、1回8日間です。
また、荒川ふるさと文化館1階郷土学習室で視聴できます。

問い合わせ先

■内容等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館・・・3807-9234

●荒川区ホームページ

<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/>

■ビデオテープ・DVD貸出しに関すること

南千住図書館・・・3807-9221

町屋図書館・・・3892-9821

荒川図書館・・・3891-4349

日暮里図書館・・・3803-1645

尾久図書館・・・3800-5821

●荒川区立図書館ホームページ

<http://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>